

P.B.S. パワーブーストシステム搭載

# 「馬力向上」さらに「燃費向上」

“Intensified power and improved fuel efficiency”

# スポーツマフラー

Sports muffler for replacement



## スポーツマフラーのパワー配分

### A.トルクバンド

発進時や低速時には、力強いトルクが要求されるのは当然。ここでもたつくと、乗りづらい車になってしまう、その上疲労する。「ガナドール」はこれを最重要項目のひとつとして研究してきた。ドライバーの意志に機敏に反応するそのトルクは、車との一体感を一層深めてくれる。それぞれの車種で、それぞれのエンジン特性とマッチングさせる、まさにその車専用に開発、構成させる大事な要素である。

### B.パワーバンド

発進から始まる胸のすくような加速感、とどまる所がないようなパワーバンド。そのハイレブンスから生まれる軽快なエキゾーストノートとのマッチングでさらに快適な走りへ移行する。それがガナドール(勝利者)そのものの感覚。それはまた、長い旅をしたときに「疲労感が残らない」ことで体感できる。

### C.サウンド

パワフル、トルクフル、さらに大事な要素にサウンドがある。ガナドールでは、不快な音、耳障りな音域を特に重点的に消音する為、音波干渉式サイレンサーを独自に開発し搭載している。車種/型式によって異なる音の出力を調整し、心地良いサウンドに整えている。併せて走行時の床下の風きり音と風の抵抗を軽減する為に、サイレンサー形状を始め、各パーツに至るまで空気抵抗を考慮して設計されている。

## 「快適」と「パワー」を求めて

スポーツマフラーの真の価値としてガナドールが最も力を注いでいるテーマ。単純にエキゾーストパイプを太くして、サイレンサー内部の抜けを良くして、高回転域まで回しても、トルクが伴わないと低中速でもたつき、扱いにくい車になってしまう。一方、低中速の回転域ばかりを優先すると、高速は伸びない。「快適」と「パワー」として最大のテーマだ。どんなエキゾーストノートを奏でたら心地良いか、相反する事もあるこれらの問題をクリアしてガナドールマフラーは誕生した。マフラーチューンの最もハイレベルな結論を求めてガナドールでは今日も研究開発を続けている。

### 1.「全体に構成されるSUS304の材質」

それは美しいだけでなく、過酷な使用条件に対応するため、耐久性 / 耐腐食性に優れた素材として採用。

### 2.「TIG溶接の採用」

TIG溶接の多用により意匠面を整えながら、1本1本をハンドメイドで仕上げています。

### 3.「テールエンドへのこだわり」

拘束されていた排気が大気中に放散される時、よりスムーズな排出機能が要求される。それはまた大きくサウンドにも影響を与える。「P.B.S.搭載」タイプは、テール内部に内蔵させたスパイラルフィンにより、排気を回転させ、そこで生じた慣性変化を利用して脈動波の完璧な管理を行い、パワーとトルクを極限まで高める事が可能となった。

### 4.「お客様に安心と信頼を」

念には念をいれた製造工程と併せて、保安には最大限の配慮がほどこされている。保安基準をさらに補填した「JASMA認定プレート」を取得/貼付することでお客様への安心のメッセージとした。2010年4月以降の生産車両においては、国土交通省交換用マフラー事前認証制度を合格させた「JQRプレート」をマフラー本体に貼付した安心して装着ができる商品とした。

### 5.「サウンドはスポーツマフラーの大きなテーマ」

排気効率の高い消音方式が求められるスポーツマフラー。吸音方式に加えて、さらに難しいとされている音波干渉方式に独自の技術を開発して搭載し、いやな音 / 消したい音を集中的に消音する。パイプ径、その他のレイアウト、消音器の位置等が微妙に影響するこの方式で、そのエンジン独自の最良の音質とパワーの合致点をセットしてある。

※写真のマフラーはデモ画像です。

詳細はこちら [ガナドール](#) [検索](#)

## 燃費向上とパワーの両立「P.B.S」

### ① 車種別専用設計のサイレンサー

- 車種別の、排気量・エンジン特性・排気管の取り回し等の、個別の条件を取り入れ、その(車種専用)の、サイレンサーの設計を行っている。
- 各 부품の組み合わせ条件や精度管理を行い、さらに膨大なテストの繰返しから、その車両のベストのパワーポイントを設定、エンジン出力の最大限を確保。



### ② 機能を引き出すテール構造

- さらに(サイレンサー)と(テールフィン)のセッティングを行う。この作業でその車種専用の出力管理を行い、供給された燃料を最大限有効にパワーに変換する事で驚異的な燃費改善を現実のものとした。
- テール内部のスパイラルフィンは、排気を回転させ、そこで生じた慣性変化を利用して、脈動波の完璧な管理を行い、パワーとトルクを極限まで高めた。



※車種専用設計のサイレンサー構造とスパイラルテールとの組合せを、総称してP.B.S(パワーブーストシステム)とした。